

開催記録

1. 件名

令和元年度かめやま若者未来会議 第7回メンバー会議

2. 日時

令和2年1月15日(水) 午後6時30分から

3. 場所

市役所本庁舎 3階 理事者控室

4. 参加者

メンバー:4人

事務局:伊藤、松村

5. 事項

(1)あいさつ

アイスブレイク

(年末年始をどのように過ごしたか、今年の漢字1文字「決意表明」)

(2)これまでの振り返り

11月3日(日)に開催された東海道関宿街道まつりへの出店(かめタピの販売)、11月10日(日)に実施した伊賀市若者会議との交流会、12月14日(土)に聴講した地方創生★政策アイデアコンテストの最終審査会について、当日の写真を見ながら、みんなで振り返り、意見交換を行いました。また、地方創生★政策アイデアコンテストの最終審査会の様子については、地方創生担当大臣賞を受賞したチームの映像アーカイブをみんなで視聴しました。

(3)まちづくりアイデア(政策提言)について

今年度の目標であるまちづくりアイデア(政策提言)に向けて、これまでのメンバー会議での議論(亀山市のよいところや課題)を踏まえて、亀山市が今後どのようにしていけばよいか、どうしてほしいかなどを話し合いました。

主に出された意見

- ・ 亀山のお土産があまり売っていないので、道の駅やPAに置けるようにインパクトのあるものがあれば、亀山の知名度向上につながる。
- ・ 亀山はかつてお城があったのに、現在は多聞櫓しかなく、存在感がないため、本殿の再現(VR)や亀山城にちなんだ名物があれば、もっと亀山を知ってもらえる。
- ・ 亀山のよいところなどを印象的なキャッチコピーをつければ、亀山にもっと人が住んでくれると思う。(例えば、ごみの分別や観光など)
- ・ 映画がアニメなどの聖地巡礼で他の自治体にたくさんの方が訪れている。映画やアニメ、テレビにおいてロケ地で活用されたときには、もっとSNSなどで情報発信できればよい。また、野外ライブとお祭りを掛け合わせたものが開催できれば、若い人も楽しめるまちになると思う。

- ・ 亀山市は交通の便がよいし、よいところもたくさんある。SA などを利用する人は多いが、滞在してくれる人が少ないイメージである。SA など観光地やグルメガイドなど宣伝できれば亀山市を訪れて、知ってくれるのではないか。
- ・ 若者が楽しめるイベントがないので、若者会議がもっと多くのイベントに出店して盛り上げれば、老若男女みんなが訪れる、映えるスポットにすることができるのではないか。(街道まつりでタピオカミルクティを出店できたことは、これまでのイベントになかった流れを作れたと思う。若い人がたくさん買いにきてくれ、インスタ映えする写真もたくさん撮ってくれていた。)
- ・ 高齢化が進み、空き家が多くなってきている一方で、購入や賃貸の需要もある。しかし、空き家バンクなどへの登録も少なく、うまく活用がなされていない。空き家の中に家財道具などがそのままの状態になっていたりすることが原因で貸し出しなどができないとも考えられるため、若い人の力を借りて掃除などを行う仕組みができればよいと思う。市内中心部に住む人が増えたり、商売を行う人が増え、活性化につながると思う。
- ・ 亀山市は若者の集える場所がないので、集えるスペースをどこかに作れたらよいと思う。また、中高生に発信し、若者同士が交流できる場であることを知ってもらいたい。若者会議主催のイベント(小さなイベントで構わない)を定期的開催し、若者会議の活動を知ってもらうとともに、集えるスペースを楽しんでもらえるようにしたい。
- ・ 飲食店街がないため、そんなストリートがあればよい。そもそも市内の飲食店を知らないということもあるので、SNS等で発信していきたい。

(4)その他

- ・ 全国まちづくり若者サミット2020について
全国まちづくり若者サミット2020を主催する一般財団法人日本青年館より案内が届いたため、情報共有を行いました。
- ・ 亀山市市勢要覧への掲載について
亀山市市勢要覧でかめやま若者未来会議のインタビューが掲載されたため、みんなで記事を確認しました。

6. 総括

今年に入って初めての会議の開催、久しぶりに顔を合わせたメンバー。アイスブレイクでは、今年の抱負を漢字1文字で表現し、今年目標や思いを共有しました。また、11月及び12月に実施した東海道関宿街道まつりへの出店や伊賀市若者会議との交流会、地方創生★政策アイデアコンテスト2019の聴講などを振り返り、それぞれのよかった点、課題となったところを共有しました。今年度の目標であるまちづくりアイデア(政策提言)のとりまとめに向け、これまでの議論や経験を踏まえて、どのような取り組みを行っていけばよいかなどを話し合いました。話し合いでは、亀山のよいところがたくさんあるのに知ってもらえていないため、SNS等を活用した情報発信や若者も楽しく過ごせるまちにするため、若者が交流する機会をもっと増やした方がよいなどの意見が出ました。まちづくりアイデア(政策提言)のとりまとめに向け、次回以降のメンバー会議においても、引き続き、協議していきます。

